

奄美群島自治体

水道DXで遠隔検針

NTT西日本鹿児島支店、NTTテレコン九州支店と検証

奄美群島自治体とNTT西日本鹿児島支店、NTTテレコン九州支店は上水道関連業務のDX化に向け「水

システムを活用した水道メーター遠隔検針について検証。今年8月からスタートし、来年5月まで実施する。

●●●●

証実験の実施」に伴う協定を締結した。実証実験では、特定エリアの複数自治体（奄美群島9自治体）が合同で、通信端末と集中監視シ

NTT西日本鹿兒島支店で社会基盤營業を担当する宮田健担当部長は「われわれは社会インフラに関するソリューションを進め

を抱えている。われわれとしてもどういう支援ができるのか検討している。そうした中、NTTテレコンから水道スマートメーターに

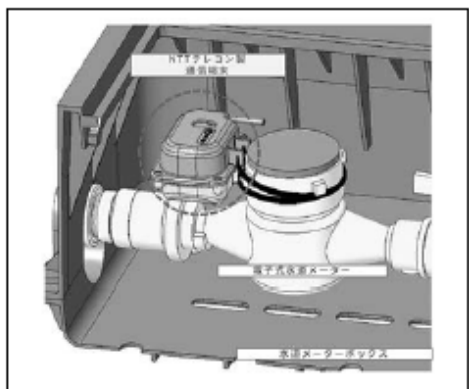
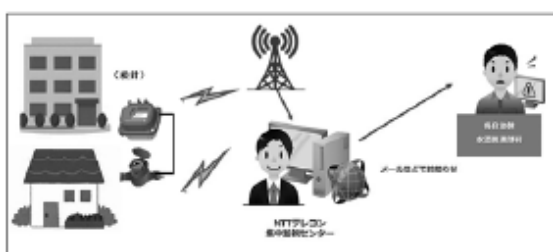
うことで、協定締結の運びとなった」と話す。

具体的には奄美群島9自治体に対して、通信端末と電子式水道メーターを接続し、N

あり、検針員の負担はなっていたが、こうした負担が軽減される。

中島支店長は「自治体の声としてよく聞くのは、検針員の高齢

鹿児島支店で社会基盤
営業を担当する西野政
行氏は「例えば、浄水
場から下部のほうにか
けて、途中で漏水が發
生することがある。浄



水道スマートメーターの設置イメージ